

社長挨拶

昨年の大震災から1年が経過しましたが、日本は依然、復興の途上にあります。

私共は製品と生産活動を通して、環境・社会への貢献を継続すると共に、可能な限りの復興支援を進めてまいります。

環境に対する取り組み

当社では昨年度、大豊環境基本方針を見直し、『製品と生産で社会と環境に貢献』と致しました。これは環境を“製品”と“生産”2つの面から見ることで、自動車と関係の深い当社製品を介して、より幅広く大豊工業と環境の関わりを捉えることを意味しています。また、2009年にVISION2015を設定、環境ブランド獲得に向けた活動を明確にし、取り組みを続けています。

製品と生産で環境改善に伝える

現在、製品面では、自動車燃費に大きく貢献する各種の低摩擦軸受、低摩擦性や耐焼付性に優れた樹脂コート軸受、排気ガス浄化に寄与する各種排気制御弁や低燃費車に搭載されるバキュームポンプなどの開発や生産を推し進めると共に、当社が得意とするトライボロジー技術を活かし、“潤滑システム”への取り組みも開始しました。一方、生産活動においては、工場動力源の省エネルギー化、新工法の採用、設備のシンプル・スリム化、生産設備の整流化、照明のLED化などを強力に推進してまいりました。

企業活動との一体化

2008年の経済危機以来、私共を取り巻く経済環境は継続して厳しい状況にあります。加えて、震災に伴う原発の停止により、エネルギー需給は極めてひっ迫した状態が続くものと思われます。環境改善に向けた取り組みが独立したものではなく、経済活動とも密接に関連していることは言うに及びません。私共は、環境改善への取り組みが、企業を取り巻く多くの課題を打破する力になるとの確信のもと、活動を強化してまいります。

当社の活動に対し、今後とも皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

大豊工業株式会社
代表取締役社長 上田建仁

